

豊郷小学校 旧校舎群 歴史展

『世界ひとのぞ記』発行記念

2014年11月16日(日)

～

11月30日(日)



開催場所

豊郷小学校旧校舎群本校舎2階

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑 518
近江鉄道豊郷駅下車徒歩10分(駐車場あり※)

開場時間

午前9時～午後5時半(土日祝)

午前8時半～午後5時(平日)

主催:公益財団法人 芙蓉会

後援:豊郷町教育委員会 豊郷町観光協会

古写真と資料で知る

「東洋一の小学校」

入場無料

お問い合わせ先:豊郷町観光協会 TEL 0749-35-3737

<http://www5.ocn.ne.jp/~toyosato/>



『世界ひとのぞ記』と豊郷小学校

平成 26 年の今年、国登録有形文化財「豊郷（とよさと）小学校旧校舎群」は昭和 12 年の竣工から 77 周年を迎えました。この「豊郷小学校旧校舎群」は校舎の敷地から建物の全て、備品の大半が豊郷出身の実業家、古川鉄治郎の個人寄付によるもので当時「東洋一の小学校」「白亜の教育殿堂」と称えられました。また、アメリカ人建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計した建築としても知られています。

古川鉄治郎は竣工に 9 年先立つ昭和 3 年に、欧米への視察旅行をフィリピンで開拓事業を営む実弟、古川義三の世界旅行に同行する形で行いました。

古川義三は、その世界旅行の見聞記を「世界ひとのぞ記」として昭和 5 年に著しています。その中には、アメリカの大学が寄付で作られている事や欧米の進んだ科学文明に対する驚嘆の念が記されており、後に古川鉄治郎が豊郷に当時最先端の教育設備を揃えた学校施設を寄付した背景には、実弟と共に旅した欧米での体験が多分にあったものと考えられます。

この度の展示会を通して、豊郷の先人が遺した教育に対する情熱を感じて頂ければ幸いです。



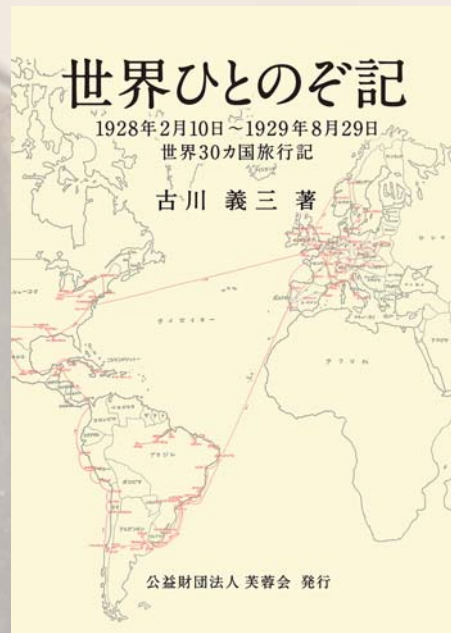
ふるかわよしぞう
古川義三（1888～1985）

豊郷出身の実業家。古川鉄治郎の実弟。東京帝国大学卒業後、フィリピンに渡り古川拓殖株式会社を設立。開拓事業に乗り出す。世界30カ国を回り「セカイヒトノゾキ」を著した。太平洋戦争後は南米エクアドルで開拓事業に取り組んだ。



ふるかわていじろう
古川鉄治郎（1878～1940）

豊郷出身の実業家。丸紅・伊藤忠商事の前身である伊藤本店の丁稚見習いから身をおこして丸紅商店の専務（代表取締役）となった。晩年は多くの公職に列し、業界・財界の為に活動を惜しなかった。報恩の情に厚く、小学校以外にも郷里のために寄付をしている。



左:平成26年復刻版書影
下:原著書影



原題は「セカイヒトノゾキ」。昭和3年から4年にかけて、古川義三が世界30カ国を旅行した見聞録。原稿はカナタイプライターで書かれ、昭和5年に出版された。出版時に一部漢字表記としている。平成26年に公益財団法人芙蓉会からひらがな、漢字表記に改めて「世界ひとのぞ記」として復刊。



昭和3年8月5日、フランス、パリのル・ポールゲ飛行場にて
左・古川鉄治郎、右・古川義三



落成式にて古川鉄治郎より
感謝状を受けるヴォーリズ



講堂・スタインウェイ製
M型ピアノ



講堂地下室・昭和鉄工製
アサヒボイラS511T



理科室・島津製作所製
コックス電源装置